《膨脹式》

取扱説明書

作業用救命衣

小型船舶用救命胴衣の要件に適合するもの

マリンベスト

KK-5

分類の種類 TYPE A

国土交通省型式承認番号第4678号

作成2004. 10. 28

ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さい。
なお、本製品は繰返し使用できますので、この説明書は大切に保管して下さい。
本製品の使用方法及び再使用手順は、３ページから７ページに記載してあります。

製 造 販 売
(国土交通省認定製造事業所)
興亜化工株式会社

■安全に関する注意事項

作業用救命胴衣を正しくお使いいただく為にお守り下さい。

⚠危 険 取扱いを誤った場合，使用者が［死亡又は重症を負う危険が切迫して生じることが想定される］内容です。

1. 泳げない人は、使用を避けてください。

2. 救命胴衣本体布に、裂け、切れ傷及び漏れ等の損傷がある場合は、絶対に使用しないで下さい。
必ず、新しい救命胴衣と取り替えてください。

3. 救命胴衣を自動膨脹又は手動膨脹にて使用した場合は、ガスボンベ及びスプールを新品と交換して下さい。
ガスボンベ及びスプールを交換しなければ再使用することはできません。

4. ガスボンベの封板に孔が開いているときは、使用できません。ガスボンベを交換して下さい。

5. 本製品は、小型ガスボンベに充填された炭酸ガスによって膨脹するため、ガスボンベが緩みなく装着されているかを確認して下さい。
救命胴衣が膨脹しない原因になります。

6. 自動カット装置の突棒とキャップの上面より２㎜以上下に下がっているときは、スプールを純正部品の新しいものと交換して下さい。

7. スプールの有効期間は１年です。スプールは、経年変化によって水没してから自動カット装置が作動して自動膨脹するまでの時間が長くなる傾向にあります。
１年以上を経過したものは純正部品と交換して下さい。

⚠警 告 取扱いを誤った場合，使用者が［死亡又は重症を負う危険が切迫して生じることが想定される］内容です。

1. 落したり、ぶつけたりしないで下さい。強い衝撃が加わると自動カット装置本体が破損して使用できなくなります。
誤って落したり、ぶつけたりした場合は、必ず自動カット装置を点検して下さい。
（７～８ページ保守・点検の項を参照）

2. 強い衝撃を与えたり、鋭利な刃物や突起物に触れさせないで下さい。強い衝撃を与えたり鋭利な刃物や突起物に触れた場合は、補助送気管より口で空気を吹き込み、救命胴衣を膨脹させて１２時間以上放置した後、漏れが無いか調べて下さい。その後、補助送気管より完全に中の空気を抜き、キャップをして下さい。

3. ガスボンベ及びスプールは、純正部品以外のものを使用しないで下さい。正常に膨脹しない原因になります。

4. 一度膨らませた救命胴衣は、補助送気管より完全に中のガスを抜き、キャップをして下さい。ガスが残ったまま再度使用しますと、膨脹しすぎとなり救命胴衣を破裂させる原因になります。

5. 船上等で水をかけないで下さい。救命胴衣が膨脹する場合があります。

⚠注 意 取扱いを誤った場合，使用者が［傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される］内容です。

1. 使用前には必ず自主点検をして下さい。
（７～８ページ保守・点検の項を参照）

2. 使用しない場合、炎天下、車のトランクの中など、高温及び湿気が多い環境下では保管しないで下さい。ガスボンベを破裂させたり、自動カット装置を誤作動させる原因になります。

3. 幼児の手が届かないところに保管して下さい。怪我などの原因になります。

4. 自動カット装置は、精密な構造ですので分解しないで下さい。自動カット装置を誤作動させる原因になります。

5. 水面に浮遊しているときは、救命胴衣を破裂させる恐れのある浮遊物に注意してください。

■製品仕様

救 命 胴 衣	・首掛け式 ・縦約５４cm　幅約３６cm(膨脹時) ・オレンジ色　ﾅｲﾛﾝ･ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｺｰﾃｨﾝｸﾞ布 ・再帰反射材貼付　補助送気管付 ・浮力：約10Kg
自動膨脹装置 (自動ｶｯﾄ装置)	・ガスボンベ(液化炭酸ガス 17g)：１個 ・スプール：１個 ・自動カット装置：１個 （手動膨脹兼用）
全 重 量	約580g（救命胴衣部分約490g）

■概 要

本製品は、船舶設備規程第３１１条の２０（作業用救命衣）、同条の２１及び小型船舶安全規則第５３条（小型船舶用救命胴衣）並びに小型漁船安全規則第２５条（救命設備の要件）の２に適合するものです。

本製品は、船員労働安全衛生規則（舷外作業及び漁労作業）の規定された作業用救命衣として、海中転落の恐れのある作業等に従事する場合に常時着用することに適し、軽量コンパクトに設計され、更に小型船舶用救命胴衣としてもご使用頂ける兼用タイプのものです。水中に没すると、救命胴衣が膨脹する仕組みになっております。

■各部の名称

■使用方法

1. ＫＫ-５の装着
(1)　バックル（留め金具）を外します。

(2)　保護カバー付き作業用救命衣を首に掛けます。(図1)

(3) 作業用救命衣に付いているベルトを腰部に廻し、ベルトの左右のバックル（留め金具）を差込み、ベルトの長さを調節してしっかりと装着して下さい。
装着が十分でないと作業用救命衣が身体から外れる原因になります。

2. ＫＫ—５の自動膨脹
本製品は、水中に全没すると自動膨脹装置が作動し、ガス膨脹により救命胴衣が展張して、身体を浮遊させます。また、保護カバーは、救命胴衣の膨脹によってマジックテープの接着が外れ自動的に救命胴衣を解放します。
自動膨脹が少しでも遅いと思われた際には、手動膨脹用引き紐の握り玉を下方に強く引張って下さい。
即、膨脹します。

3. 適正な浮遊姿勢
救命胴衣、ベルト及びベルト連結紐との組合せで、適正な浮遊姿勢を保ちます。(図2)

図 1

図 2

4. 手動による膨脹
自動膨脹とは別に、手動でも膨脹できる機構がついております。手動により膨脹させる際には、作業用救命衣を首に掛けた状態(図１)で手動膨脹用引き紐の握り玉(図3)を下方に強く引張ってください。即、膨脹します。

図 3

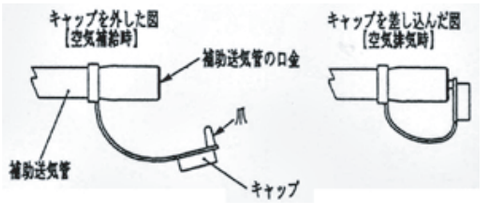
5. 水上へ避難する場合の膨脹
緊急でない場合には、手動によって救命胴衣を膨脹させてください。

■補助送気管(装置)

この装置は、気室（救命胴衣の中）に空気を補給する時又は気室の空気（ガス）を排気するときに使用する装置です。

a. 空気補給時：▪キャップを外して、補助送気管の口金（樹脂製）から補給します。
補給後はキャップをして下さい。

b. 空気(ガス)排気時：キャップを外して、キャップの先の爪を補助送気管の口金（樹脂製）に押込んだ状態で救命胴衣を手などで圧迫し排気します。



裏面へ続く

■膨脹使用後の再生

膨脹使用後の作業用救命衣ＫＫ－５は以下の再生手順に従って再生でき、新品と同等の性能が得られます。

《手動で作動させた場合は、自動カット装置に壊れて残っているシールピンを取り除き、自動カット装置の手動用作動レバーを元に戻し、新しいシールピンを差し込み、手動用作動レバーを固定して下さい。その上で下記手順に従って行って下さい。》

1. 救命胴衣を膨脹使用後は、漏洩個所が無い事を確認して下さい。
（方法：救命胴衣が膨脹した状態で水没又は石鹸水の塗布をしますと、漏れがあれば泡が発生します。）

2. 真水で良く洗浄してください。その後、次の要領でガスボンベとスプールを取り外し、救命胴衣、自動カット装置及びキャップを日陰で良く乾かして下さい。

＜ガスボンベとスプールの取り外し方法＞

①自動カット装置のキャップを左に回して外し、使用済のスプールを取り出して下さい。
②使用済のガスボンベを左に回して外して下さい。

3. 自動カット装置の手動用作動レバーが下に下がっている時は、上に引き上げて元の位置に戻し、シールピンで固定して下さい。

4. 救命胴衣の気室内の空気（ガス）を充分に抜いて下さい。

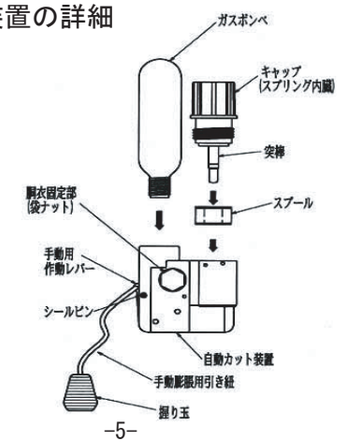
5. 新しいガスボンベ（CO_2:17g）とスプールを取り付けて下さい。

＜ガスボンベとスプールの取り付け方法＞

①自動カット装置及びキャップの内部に水滴等の付着がないことを確認して下さい。
②新しいスプールを、自動カット装置に挿入して、キャップをしっかりと締めて下さい。
③手動膨脹用引き紐が救命胴衣布とガスボンベの間に挟まることがないようにして、新しいガスボンベを右に回して、しっかりと締めて下さい。

6. 救命胴衣を畳み、ポーチに収納しセットします。
（６ページの救命胴衣のポーチ収納方法の項を参照）

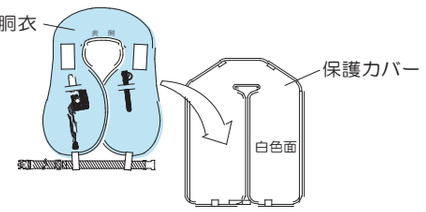
■自動膨脹装置の詳細



■救命胴衣のポーチ収納方法

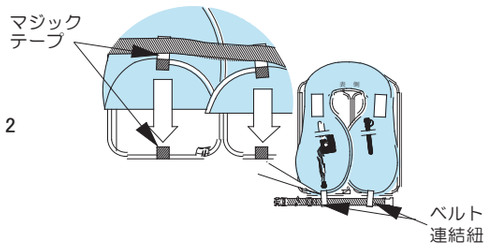
①保護カバーの内側（白色面）を表にして広げ、救命胴衣をその上に配置する。（図1）　（※別売りオプション設定）

図 1



②救命胴衣のベルト連結紐裏側にあるマジックテープと保護カバー下側にあるマジックテープ２箇所を合わせる。（図2）

図 2



③救命胴衣（左側）を保護カバーで包む。
イ．手動膨脹用引き紐を自動カット装置に沿わせて伸ばす。（図3-1）
ロ．自動カット装置を救命胴衣で両側から包む。（図3-1）
ハ．保護カバーで包み、マジックテープを合わせて止める。（図3-2）

図 3-1

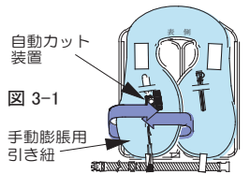
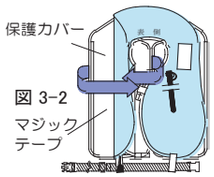


図 3-2



④握り玉を保護カバーに固定する。
イ．③で止めたマジックテープの下部分を少し開く。（図4-1）
ロ．手動膨脹用引き紐を保護カバーの内側のマジックテープで止め、握り玉を保護カバーの外に出す。（図4-2）
ハ．イで開いたマジックテープを元に戻す。

図 4-1

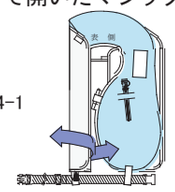
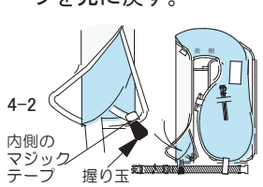


図 4-2



⑤救命胴衣（右側）を保護カバーで包む。
イ．補助送気管を救命胴衣で両側から包む。（図5-1）
ロ．保護カバーで包み、マジックテープを合わせて止める。（図5-2）

図 5-1

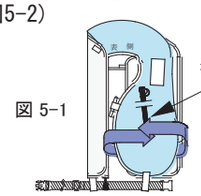
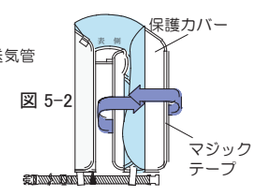


図 5-2



⑥救命胴衣の首部を３回たたむ。（図6-1, 図6-2）
図6-1は、おおよその折り位置を示す。

図 6-1
たたみ位置

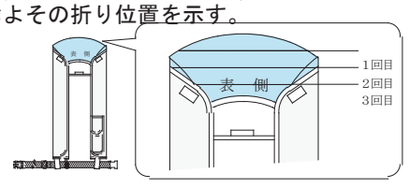
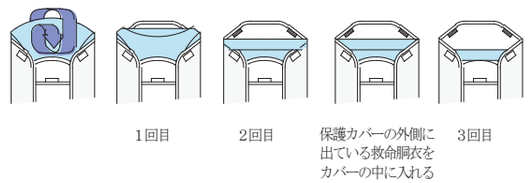


図 6-2　たたみ方



⑦外側のカバーを被せ、マジックテープを合わせて止める。（図7-1, 図7-2）

図 7-1

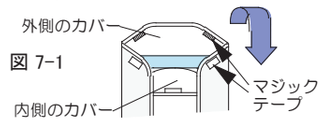


図 7-2
止めた状態

⑧内側のカバーを被せ、外側のカバーのマジックテープに合わせて止める。（図8-1, 図8-2）

図 8-1

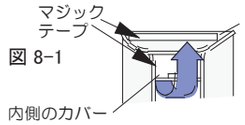
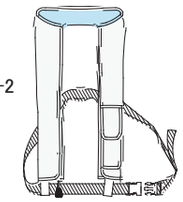


図 8-2
完成

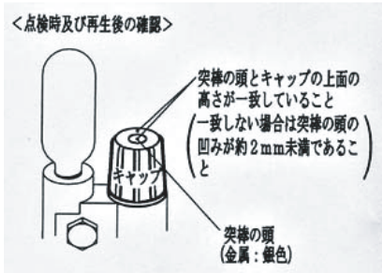


■保守・点検

救命胴衣が何時も完全な作動をするために、６ヶ月毎に次の保守・点検を実施して下さい。

1. 救命胴衣本体布の点検
裂け、切れ傷、こすれ、漏れ、損傷及び変質等の有無を点検してください。
漏れ等の異常がある場合は、新しいものと交換して下さい。

2. 突棒の頭の位置の点検
「突棒」の頭が、キャップ上面より下に２㎜以上下がっている時は、新しい純正部品（スプール）と交換して下さい。



3. 自動カット装置の保守・点検
亀裂、破損などの異常の有無を点検して下さい。
異常がある場合は、販売店又は弊社（興亜化工株式会社）に修理を依頼して下さい。

4. ガスボンベの点検
ガスボンベを取り外して秤量し、ガスボンベ本体に刻印してある総重量（ＧＷ）と対比して下さい。
刻印重量より減量している場合及び錆が発生しているときは、新しい純正部品（ガスボンベ）と交換して下さい。

5. 補助送気管の点検
補助送気管に亀裂、裂け及び変質等が無いか、また、キャップの有無を点検して下さい。
亀裂等の異常がある場合は、販売店又は弊社（興亜化工㈱）に修理を依頼して下さい。

6. 締め付けベルトとベルト連結紐の点検
ベルトと連結紐の損傷、切れ等とミシン糸の切れ、ホツレ及びバックルの損傷の有無を点検して下さい。
損傷等がある場合は、修理を確実に実施して下さい。

7. 保護カバーの点検
保護カバーの裂け、ミシン糸の切れ、ホツレ及びマジックテープの損傷の有無を点検して下さい。
損傷等がある場合は、修理を確実に実施して下さい。

8. 笛の点検
笛の有無と音が出るかを点検して下さい。
笛が無い場合又は音が出ない場合は純正部品に指定されている笛と交換して下さい。

9. 再帰反射材の点検
再帰反射材の有無及び剥がれ、汚れ、損傷等を点検して下さい。
再帰反射材が取れた場合又は無い場合は、純正部品に指定されている新しい再帰反射材を所定の位置に貼付けて下さい。
また、剥がれ、汚れなどがある場合は補修して下さい。

10. スプールの点検
スプールの有効期間は、１年です。期間が経過していないか点検して下さい。
有効期間経過後は、純正部品に指定されている新しいスプールと交換して下さい。

整備記録・メモ

製造販売
（国土交通省認定製造事業場）
興亜化工株式会社
ホームページ；http://www.koa-kako.co.jp
E-Mailアドレス；sales@koa-kako.co.jp
〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-13-9
TEL(03)5835-2924　FAX(03)5835-1041

(2004.10)